

第3学年 技術科 年間単元指導計画

時期	単元・題材名	配当指導時数	本単元で育成すべき資質・能力 (単元の学習内容)	単元の評価規準	評価方法	教材名	主な言語活動	各教科横断的な資質・能力の育成 に関わる他教科との関連
4～7月	B(1) 生活や社会を支える生物育成の技術	3	①生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み	①作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則を理解している。生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。	定期考査 授業での課題	栽培の三要素 肥料の三要素	今の食糧生産技術に関する論述	社会「近代の日本と世界」とのつながり
			①技術に込められた問題解決の工夫	②生物育成の技術に込められた工夫を読み取る力を身に付けている。生物育成の技術の見方・考え方を身に付けている。	定期考査 授業での課題			
				③進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	授業での課題			
6～8月	B(2) 生物育成の技術による問題の解決	3	①安全・適切な栽培又は飼育、検査など	①安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	定期考査 栽培実習	トマト栽培実習	食料生産に関する諸課題についての論述 栽培実習の記録	理科「いろいろな生物とその共通点」とのつながり
			②問題の発見と課題の設定、育成環境の調節方法の構想と育成計画、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正	②生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力を身に付けている。	定期考査 栽培実習			
				③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。	栽培実習 振り返り			
9～10月	B(3) 社会の発展と生物育成の技術	4	①生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念	①生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解している。	定期考査	トマト栽培実習	栽培実習に関する振り返りと感想交流	社会「世界各地の人々の生活と環境」とのつながり
			②技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用	②よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力を身に付けている。	定期考査 栽培実習			
				③よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	栽培実習 振り返り			
11～3月	D(4) 社会の発展と情報の技術	7	①生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念	①生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解している。	定期考査	プレゼンテーションソフト	ICT機器を活用した発表	社会「近代・現代の日本と世界」とのつながり
			②技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用	②よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力を身に付けている。	定期考査 製作実習			
				③よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	定期考査 製作振り返り			

合計 17